



えんくるり事業開始1周年

鳥取こども学園 ★たちかわこどもクラブOPEN★

第3回相談員連絡会を開催しました

1月22日、県内の社会福祉法人施設、市町村社会福祉協議会の相談員を対象に「第3回えんくるり事業相談員連絡会」を開催し、約60名の相談員にご参加いただきました。

はじめに「生活困窮者自立支援制度」について、制度創設の背景から基本的な概要、鳥取県内における状況等について実際にあった相談事例を交えながら説明をいただき理解を深めました。「生活困窮者支援を通じた地域づくり」はこの制度の目指す目標の一つです。生活困窮に陥る背景には、単なる経済的な困窮だけではなく、社会的な孤立の問題もあります。生活困窮者への支援を通じて地域から浮かび上がってくる課題をしっかりと受け止め、関係機関が協働して解決につなげていける体制を構築し、住み慣れたところで安心して暮らせる地域づくりを目指す点など、えんくるり事業における取り組みとの共通点も多く、非常に関連の深い制度であることを実感したとの声もいただきました。

生活困窮者自立支援の窓口においても、えんくるり事業による経済的支援は、制度の狭間に陥り支援が困難な相談者の課題解決に向けた糸口となっているとのことのお話もあり、互いに連携し適切につなぐことの大切さも改めて認識する機会となりました。

子どもの夜の居場所づくり～フリースペースの実践を通して～

続いて、社会福祉施設を活用した支援を要する子どもの夜の居場所づくり（フリースペースの実践）の取り組みについて、滋賀県の社会福祉法人幸寿会 特別養護老人ホームカーサ月の輪 施設長 日比晴久氏よりお話をいただきました。

滋賀県では、民間福祉関係者が枠を超えてつながり、地域住民とともに社会とつながっていない人々の縁を紡ぎなおし、生き生きと地域のなかで暮らせるよう支援する仕組みと実践を「滋賀の縁創造実践センター」を母体として推進しています。カーサ月の輪におけるフリースペースの実践は、**24時間必ず誰かがいて、ご飯もお風呂もある施設の強みを活かし**、地域のニーズに合わせた支援ができないだろうかとの試みからスタートしました。

カーサ月の輪では毎週1回、夕方から夜の時間に子どもたちがご飯を食べたり、遊んだり宿題をしたり、お風呂に入ったりしています。マンツーマンで大人を独占できる体制をつくり、**子どもの「ありのまま」を受け止め、子どもの「想い」に寄り添うことを大切にしています。**

「過去に例のない試みに挑戦するにあたっては様々な壁もありました」と日比施設長。

フリースペースの実践を通して、**特養は「居場所」を提供できる機能を持っている**ことに気付いたといいます。介護保険サービスだけを実施する施設であれば、地域にとっては「あってもなくても一緒」です。地域にとって身近に必要な施設として、地域住民と共に考え、その「機能」や「人材」を活かした支援の実践と積み重ねが必要であること、**「出来ない（やらない）理由」を並べるのではなく、「目の前で困っている一人を助けるために」地域のなかで自分たちができることを検討し実践すること**が大切であるとのことのお話は参加されたみなさんの心に響きました。



～参加者の声より～

今後の取り組みに向けて前向きな気持ちで聞きました

グループ協議ではいろいろな法人の取り組みや様子が聞けて参考になった

ぶれない実践に感銘パワーをもらいました！

実施に至る過程や取り組みがとても参考になった

出来ない理由を並べるのではなく、これからはできることを考えていきたい



社会福祉法人 鳥取こども学園の取り組み

地域に求められるサービスを
社会福祉法人が協働で創る

えんくるり事業1周年
H30. 1. 25



みんなと一緒にご飯を食べたり、宿題をしたり、遊んだり、**子どもから大人まで誰もが気軽に**来て楽しく過ごせる居場所を地域に！！

開催日
毎月第4木曜日
17:00～19:00
対象年齢
小学生～高校生

開催場所
鳥取こども学園
地域交流ホーム2F
「ファミリーホール」

実施主体法人
○鳥取こども学園

料金
こども：無料
大人：100円

実施内容
○こども食堂
○学習支援

協力事業法人
○鳥取県厚生事業団
○こうほうえん
○鳥取県共同募金会
○鳥取市社会福祉協議会
○鳥取県社会福祉協議会

場所

人材

広報

～発足式における藤野理事長のあいさつより～



近年、子どもを取り巻く環境は厳しさを増しています。少子化の進行、虐待、不登校、ニート・ひきこもりなどの問題は増加傾向にあり、居場所のない子どもたちが被害者になったり加害者になったりする事件が後を絶ちません。そのような子どもたちが多く存在することを重く受け止め、今一度地域から子どもの人権を柱に据えた日本の子育て文化を創る必要があるのではないのでしょうか。えんくるり事業に結集する他の社会福祉法人とともに、それぞれが持つ専門性を発揮し、子どもだけでなく親の気持ちや大変さも受け止め、支援ができる場所となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

初回
1月25日(木)
はカレーライス
とサラダ♪

2回目
2月22日(木)は
中華丼・お吸い物・
おひたし♪

オセロ・将棋・
トランプ
真剣勝負！



事務局からのお願い

平成30年3月31日までにえんくるり事業による経済的支援（現物給付）を実施した事案につきましては、『総合相談・支援機能強化事業 実施報告書兼えんくるり基金支払同（写）』『領収書（写）』等の書類を**平成30年4月6日（金）必着**にて事務局までご送付ください。